

3 学年部会

【研究主題】 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育
【研修会主題】 学んだことを社会や生活に生かす学習過程のあり方

【研修会主題に迫るための視点】

<p>視点①</p> <p>子どもが自ら問いを見だし、主体的に学び続けることができる単元づくり</p>	<p>①社会的事象との出会いを大切に、子どもの問いを生かして単元をつくる。</p> <p>子どもが主体的に学びに向かうためには、一人ひとりが問いをもつことが必要である。初めて社会科を学ぶ3年生は、身近な社会的事象を考えやすく捉えられるようにすることで、それぞれの問いが生まれると考える。そのためには、子どもたちの既習や生活経験をみとり、一人ひとりが問いをもてるような出会いを工夫することが大切になる。また、互いの問いを聞き合う中で、単元を見通す学習問題をつくることができるのではないかと考える。そのためには、教師が一人ひとりの問いをしっかりとみとり、意図的に指名したり、価値付けたりする教師の働きかけも大切になる。こうして社会的事象との出会いと子どもの問いを大切にすることで、「どうして～なのかな」、「次は～したい」と主体的に学び続ける姿が出てくると考える。</p> <p>②学習問題を基に自分の言葉でふり返りをかけるように手だてを考える。</p> <p>社会科において、ふり返りは学習問題に対して行っていく。学習問題を子ども一人ひとりがしっかりと理解していれば、子どもは進んで学習問題に対して自分の言葉でふり返りを書くと考えられる。さらに、子どもが互いの考えを聞き合ったり、教師が机間指導をしながら声をかけたりすることで、自分の学びの広がりや深まりに気付くことができると考える。そうして、自分の学習を調整したり、自分の成長を実感したりすることにつながっていくと考える。</p> <p>【検証方法】 注目児童を2名程度設定し、ふり返りや教師のみとりなどを追うことで主体的に学び続けていたかを検証していく。</p>
<p>視点②</p> <p>個を生かし、協働的に学びを深めることができる授業づくり</p>	<p>①子どもの学びをしっかりとみとり、個を生かす手だてを考える。</p> <p>学びを深めていくためには、子どもの学びをしっかりとみとることが大切であると考えられる。意図的に指名したり、効果的に資料を提示したりするためには子どもの学びをみとることが必要だからだ。また、これらは個を生かすことができる場面でもあると考える。例えば、資料を出すタイミングをだれの、あるいはどんな発言の際にするかを考えることは、個を生かすことにもつながっていくと考える。</p> <p>②子どもの思考に沿って、協働的な学びを促す手だてを考える。</p> <p>社会的事象の意味等に迫っていくために、協働的に学ぶことが大切であると考えられる。自分とは異なる考えや自分とつながる考えを聞き合うことで、自分の考えが深まっていくからだ。そのためには、一人ひとりがどのように考えているかを、ふり返りや座席表などを活用して教師がしっかりとみとる必要がある。その中で一人ひとりの考えをつなぐ問い返しや意図的な指名、構造的な板書などの支援をすることで、社会的事象の意味等に迫っていったことを子どもが実感できるようにすると考える。</p> <p>【検証方法】 実際の流れ、本時の授業記録、本時の板書、子どものふり返り、などを基に協働的に学びを深めていたかを検証していく。</p>

【3学年部会で目指す子どもの姿】



子ども一人ひとりが身近な地域や市の様子や生産・販売、地域の安全を守る働きや市の移り変わりの様子に関する社会的事象の意味等について観察・調査したり、地図などの資料で調べたりして自分なりにとらえわくわくしながら「どうして～なのかな」「次は～したい」、「みんなに聞いてみたいな」、「いろいろな考えを聞くことで新しいことがわかった（気付いた）な」と学習問題を追究し、学んだことを生活や学習に生かそうとする姿。

【学習内容と学習指導要領の関わり】



1 身近な地域と市の様子	教師の適切な手だて（支援）がある中で、都道府県内における横浜市的位置、市の地形や土地利用、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現する姿。
2 地域に見られる生産や販売の仕事	教師の適切な手だて（支援）がある中で、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の生活との関連を考え、表現する姿。消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する姿。
3 地域の安全を守る働き	教師の適切な手だて（支援）がある中で、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する姿。
4 市の様子移り変わり	教師の適切な手だて（支援）がある中で、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現する姿。